

テーマ

ふるさと小野のよさ再発見

事業実施地区（中学校区名）	益田市小野地区
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	益田市小野公民館

テーマの背景

小野地区においては、平成21年度より地域づくり事業の一環として地域資源を活かす事業を推進してきた。その中で「地域資源マップの作成」「地域資源解説書の作成」「地域資源案内板の作成」「ボランティアガイドブックの作成」「ボランティアガイドの育成」などを継続事業として行ってきた。そして、これらを利用して地区民（小・中学生や一般）や地区外の人への情報発信を続け、地域の魅力をアピールし、ふるさとに愛着と誇りを持てるような取り組みを行ってきているところである。

実際の取組

② 学校の学びをさらに深める場の設定

事業名：小野中学校ふるさと教育事業

<取組の概要>

目的：地区ボランティアガイドより小野地区の見どころについて説明してもらい、地域の魅力を再発見してもらう

対象：小野中学校生徒全員

実施日：平成29年10月10日（火）

実施場所：1年生（9名）～小浜地区（小浜衣毘須神社など）
2年生（9名）～喜阿弥地区（喜阿弥八幡宮など）
3年生（13名）～戸田地区（戸田柿本神社など）



取組内容：各地区でボランティアガイドが生徒たちに建造物の歴史等について説明をした

<成果と課題>

- 今回の取り組みは、学校と公民館、そして地区のボランティアガイドで協力して実施した事業であるが、子どもたちにとっては地区の歴史的建造物のことについて詳しい内容を知ることが出来たし、ボランティアガイドにとってはガイドの実践の場とすることが出来た。また、中学校ではこの取り組みで知ったことをレポートにまとめ、学校の文化祭で発表されたので大変意義深い取り組みであった。

④ ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：つろうて子育て「海遊び」事業

<取組の概要>

目的：地域の自然に触れることにより、ふるさとに愛着と誇りを持ち次世代に伝えてもらう

対象：小・中学生、幼児 及び 保護者

実施日：平成29年7月30日（日）

実施場所：小浜海岸衣毘須神社付近

参加者数：幼4名、小11名、中8名、保護者9名、スタッフ19名（合計51名）

取組内容：地域の大人と一緒に「海遊び ～魚釣り・貝採り・海歩き・水泳など」をし、自然の豊かさを満喫してもらった



<成果と課題>

- ・小野地区に残っている自然を利用し、自然の豊かさを満喫してもらうことでふるさとに愛着を持ってもらう取り組みとして実施した。今回で2回目の取り組みとなったが、昨年よりは参加者が増えたが、まだ少人数であるので来年はさらに多くの子供たちが参加できるように工夫をしていきたい。以前は子供たちが海で遊ぶことは多かったが最近ではほとんどなくなっているのが現実で、参加した子供たちの「楽しかった。来年も来たい」という感想が印象的であった。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

- ・今年度の取り組みは、4事業（つろうて子育て「海遊び」、つろうて子育て「スポーツ交流」、中学校ふるさと教育、画像による「小野探訪」ガイド）を行った。いずれの取り組みも地域の良さを伝え、体験させることでその魅力や価値に気づき理解を深めてもらい、地域に愛着を持ってもらうということで実施したものであるが、ある程度その成果はあがったのではないかと考える。今回の取り組みで、子どもたちへの呼びかけは中学生については生徒会を通じて呼びかけをしてもらった。これが前年より中学生の参加が増えた一因だと考えているので、来年度以降もこれを続けていきたい。

今後の展望

- ・「海遊び」では小学生の参加が少ないのが気にかかる。子どもたちに聞いてみると「自分で行きたいが、親が行ってもいいと言わなかった」という言葉が返ってきたので、今後は保護者の関心をいかにして引き付けていくのかということのを重要な課題と意識して今後の取り組みを進めたい。また、画像による「小野探訪」ガイドでは、ガイドの仕方（例えば聞いている人が関心を持てるように、また聞きやすいような内容にするなど）を工夫して行く必要があると考えるので、ボランティアガイドの皆さんと協議しながらその内容について研究していきたい。